

終息を願いマスク寄付



石川県へ2万枚

5月8日(金)、佛東洋コンツェルン、佛農口尚彦研究所は石川県にマスク2万枚を稲村県議会議長を通じて寄付させて頂きました。両社を代表して弊社社長の朝野から『病院関係者は本当に大変な思いをしておられると思います。弊社の活動が呼び水となり、医療従事者を支援する輪が広がれば良いと思います』とマスク2万枚を谷本知事にお渡しさせて頂きました。谷本知事からは感謝状と感謝のお言葉を頂きました。



小松市民病院へ1万枚

4月24日(金)、佛農口尚彦研究所を代表して、医療従事者に感謝を込め農口杜氏から『医師や看護師の皆様のご努力に心から感謝しています。身を守りながら、今後もまだまだ厳しい状況は続くと思いますが頑張って欲しい。』と話しマスク1万枚を小松市民病院院長にお渡しさせて頂きました。院長からは感謝状と『職員は肉体的にも、精神的にも負担が増えている中で寄贈は大変ありがたく、大きな励みになる』と感謝のお言葉を頂きました。また能美市の繊維メーカー『小松マテレー』の布地を使った間仕切りを6セット同時に寄贈させて頂きました。



金沢市役所へ2万枚

5月8日(金)、佛東洋コンツェルン、佛農口尚彦研究所は金沢市にマスク2万枚を寄贈させて頂きました。両社を代表して佛農口尚彦研究所の農口杜氏は『コロナウイルスで大変な中で、身を犠牲にして最前線で頑張っている皆様ありがとうございます。早く、元の楽しい世の中になれば良いですね』と話し、金沢市長、高村市議に同席頂き、マスク2万枚を寄贈させて頂きました。金沢市長より、『いつも多くのご支援ありがとうございます』と感謝状と感謝のお言葉を頂きました。

能美市役所へ1万枚

5月7日(木)、佛東洋コンツェルンはタイガー寺井、寅亨寺井本店が店舗を構える能美市にマスク1万枚を寄贈させて頂きました。『弊社も新型コロナウイルスで大半の店舗が営業自粛を余儀なくされ、大変苦しいですが、医療従事者の皆様はもっと大変だと思います。』と話し、後日寅亨寺井本店から米沢牛を使った焼肉弁当を送ることも約束した。能美市長、能美市立病院の看護部長からは感謝状と感謝のお言葉を頂きました。

本格焼肉寅亨 お弁当

新型コロナウイルスで大変な苦勞をしている医療従事者を支援しようと、18日(月)寅亨寺井本店から小松市民病院に米沢牛を使った焼肉弁当50個を差し入れさせて頂きました。また能美市立病院にも20日(水)~22日(金)の3日間で合わせて180個の焼肉弁当を差し入れさせて頂きました。小松市民病院院長より『まだまだ緊張感を持って臨む闘いが続きますが一時的にはっとできた。マスクに焼肉お弁当のご支援、本当にありがとうございます』と感謝のお言葉を頂きました。後日能美市立病院の看護部長より感謝のお手紙も頂きました。本格焼肉寅亨は引き続き医療従事者を支援すべく、金沢大学附属病院、金沢医療センター、南加賀保健福祉センター、石川中央保健福祉センター、新型コロナウイルス感染症宿泊療養施設へも差し入れを予定しています。



宛先	担当者
石川県庁	谷本知事
石川県議会	稲村議長
小松市民病院	院長
金沢市役所	市長
能美市役所	市長
小松市役所	市長
石川中央保健福祉センター	センター長
南加賀保健福祉センター	センター長
金沢医療センター	センター長
金沢大学附属病院	院長
石川中央保健福祉センター	センター長
南加賀保健福祉センター	センター長
金沢医療センター	センター長
金沢大学附属病院	院長